



飛雪の滝で見たダブルレインボー

— 珍百景を募集!! —

みなさんが見つけた珍百景を募集しています。「なんやこれ？」って思わず言うってしまうような、珍百景情報がありましたら、ぜひ役場企画調整課広報広聴係（☎33-0334）までご連絡ください。お待ちしております。

Unusual Scenery 紀宝の**珍**百景 見つけた！ その81

飛雪の滝に現れた ダブルレインボー

今回の珍百景は、浅里地区にある飛雪の滝に現れたダブルレインボーをご紹介します。

ダブルレインボーとは、主虹（しゅこう）と呼ばれるくっきりとした虹の上に、もう一本うっすらとした副虹（ふくこう）が現れる自然現象です。副虹は光が弱く、天候や太陽の位置、観察する角度などの条件がそろわないと見ることができない、めずらしい虹とされています。

主虹とは、内側の明るくくっきりとした虹で、色の順序は、①赤、②橙、③黄、④緑、⑤青、⑥藍、

⑦紫の順番に並びます。一方、副虹は外側にうっすらと見える虹で、色の並びが主虹とは逆になり、紫から赤へと続くのが特徴です。

ダブルレインボーは、その珍しさから「幸運のサイン」とも言われています。飛雪の滝で捉えた今回の一枚は、自然がつくり出す一瞬の表情の尊さと、地域に息づく豊かな自然の魅力を改めて感じさせてくれました。みなさんにも小さな幸運を届けたいことを願っています。

ひやうびや

久しぶりに二十歳を祝う会を取材しました

広報担当として、4年ぶりに二十歳を祝う会を取材しました。

会場に着くと二十歳を迎えたみなさんの少し緊張した表情と、それ以上に楽しそうな笑顔であふれていたのがとても印象的でした。久しぶりに再会した友人同士で話はずみ、あちこちから笑い声が聞こえてきました。

僕自身も久しぶりの二十歳を祝う会の取材ということで、緊張しながらも新たな門出を迎えたみなさんの様子を撮影しました。当日の様子は、23ページのまちのわだいにも記事を掲載していますので、ぜひご覧ください。

そして今年は、旧紀宝町と旧鵜殿村が合併して20年を迎える、町にとっても大きな節目の年です。平成の合併から20年、町の姿や暮らしは少しずつ変わりましたが、人と人とのつながりや、この地域らしい温かさは受け継がれてきました。

今回二十歳を迎えたみなさんは、まさに町が歩んできた20年と同じ時間を、この紀宝町で、あるいは紀宝町と関わりながら過ごしてきた世代でもあります。そう考えると、取材しながら「20年」という数字が、ただの節目ではなく、生きた時間や歩んできた歴史として重なっているように感じられました。

これから町を離れる人も、町に残る人も、それぞれの場所での経験を重ね、またいつかこの町と交わる瞬間があるのだと思います。町もまた、20年の節目を新たなスタートとして、次の未来へ歩みを進めていきます。二十歳を迎えたみなさんと紀宝町が、それぞれの歩幅で成長し続けていく姿を、広報として見守っていけたらと思います。

（今年の1月に生誕30年を迎えた 田中 健太郎）

